

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	奈良県	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	奈良県世界文化遺産地域活性化計画		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 31 年度		
5 実施計画の概要			
<p>奈良県文化振興大綱（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 に規定する当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱のうち、文化の振興に関する大綱。平成 28 年度末策定予定）の趣旨を踏まえ、本県の世界文化遺産の保存活用及び豊富な文化資源を有する本県に住まうことへの誇りと文化継承機運の醸成を踏まえ、下記の事業を実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>本事業については、奈良県が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。 主な担当課、役割 ○文化資源活用課：世界遺産に関する事業実施の調整・連携等をおこなう。【奈良県世界文化遺産地域活性化計画】 ○文化振興課：文化振興に関する事業実施の調整・連携等をおこなう。【フェスティバル奈良事業】 また、事業の実施については「フェスティバル奈良実行委員会」（委員長：本保芳明）が実施する。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 16,027 千円	平成29年度申請額： 11,237 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>○世界文化遺産に対する認識と関心の拡大と文化財継承に関する意識高揚 会場となる社寺をはじめ、地域固有の歴史・伝統に親しむことにより、奈良が受け継ぐ文化遺産とその他の有形・無形の文化遺産に対する深い関心呼び起こして魅力を再発見し、文化遺産並びに文化財継承に対する意識の高揚を図る大きな機会となる。 また、奈良の歴史・文化の特徴は、古代より連綿として僧侶・神官によってその大部分が継承されているという点にある。文化継承に重要な役割を果たし、また、文化財とともに日々生活している僧侶による講話や、第一線の文化人によるシンポジウムを創設することにより、多くの人々が学術的な価値だけでなく身近な愛着、日本人の原点としての「こころ」を感じ、文化財の保存・継承の重要性をより深く理解することに繋がる。</p> <p>○観光振興・地域の活性化 本事業の開催を核に、年間を通して地元社寺はじめ民間団体、地域商工会など県民が一体となり奈良の文化財を活用した様々な取組を推進していく計画であり、それら県民の運動を通して地域が活性化していくことが期待できる。 また、平成28年度に続き、「学びの夜一祈りの回廊」事業では「なら瑠璃絵」と共催することで地域に根付いた文化事業としての認知度をさらにあげ、地域の活性化と同時に文化財に対する関心を拡大させることに繋がる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	奈良県地域振興部文化資源活用課（文化資源活用係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産への来場者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	奈良県の延べ観光客数			関連事業 :	事業①、②、③	
目標値 1 :	平成 28 年度 4,146 万人 ⇒ 平成 31 年度 4,200 万人					
設定根拠 1 :	奈良県主な政策集に定める目標値(平成31年次の奈良県の延べ観光客数:4,200万人)に準拠し、目標値(平成30年次4,200万人)を設定※観光統計が年次単位のため年次統計を記載					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
万人	万人	万人	万人	万人	万人	
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	県民アンケートの「自分が住んでいる地域に活気があり、魅力のある地域になっている」の評価			関連事業 :	事業①、②、③	
目標値 2 :	平成 28 年度 2.69 点 ⇒ 平成 31 年度 2.71 点					
設定根拠 2 :	平成25年度の評価(2.68/5点)から平成28年度(2.69/5点)までの伸び(0.01点)の倍の伸び(0.02点)を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
点	点	点	点	点	点	
目標区分 3 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 3 :	地域に誇りを感じる住民の割合 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	県民アンケートの奈良県に住みたい理由に「世界遺産や文化遺産などが多く、歴史的な雰囲気を感じるから」が占める割合			関連事業 :	事業①、②、③	
目標値 3 :	平成 28 年度 35.9 % ⇒ 平成 31 年度 38.9 %					
設定根拠 3 :	毎年1ポイントの伸びを設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	
%	%	%	%	%	%	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	奈良の世界遺産総合情報発信事業	実施団体：	フェスティバル奈良実行委員会		
事業区分：	情報発信	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度		
事業概要：	<p>アプリ【The World Heritage of NARA】制作 奈良県内にある世界遺産「古都奈良の文化財」「紀伊山地の霊場と参詣道」「法隆寺地域の仏教建造物」それぞれの歴史、建築物、観光ルートの紹介を行う。 観光ルート上にはGPS管理でチェックポイントを設け、実際に訪れた際にその場所にチェックインしたことが分かるようにしてモチベーションアップを図り、外国人観光客と、日本人では特に若年層の世界遺産への理解深化・関心喚起と観光誘客を図る。</p>				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	アプリのダウンロード数				
目標値：	平成 28 年度	0 DL	⇒ 平成 31 年度 3,000 DL		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
DL	DL	DL	DL	DL	DL
具体的な指標：	アプリ利用での文化財への理解の深まり (理解度) (ユーザーアンケート)				
目標値：	平成 28 年度	0 %	⇒ 平成 31 年度 85 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
%	%	%	%	%	%
事業②：	フェスティバル奈良事業	実施団体：	フェスティバル奈良実行委員会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度		
事業概要：	<p>【僧侶による特別講話と寺社特別拝観「学びの夜一祈りの回廊」】 生きた伝統とも言える、世界遺産各社寺の長による社寺そして奈良の歴史・文化についての講演。境内の僧坊等の建物での講演後に建築や仏像など文化財を拝観し、美術的な観点のみならず、日本の精神史・思想史からの観点で世界遺産の魅力についての啓発につなげる。世界遺産を身近に感じる機会をより多く創出することで魅力の再発信とより一層の普及啓発を図る。</p>				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	当該文化遺産に関する関心・理解の深まり (アンケート調査)				
目標値：	平成 28 年度	85 %	⇒ 平成 31 年度 90 %		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
%	%	%	%	%	%

